

22 ダイコン

【土作り】良菜健穂／大地／コフナ 【元肥】有機盛々
【追肥】千代田550



1 畑の準備

土作り

種まきの14日前までに「良菜健穂」、「大地」、「コフナ」をまきます。ダイコンは根が深く張る作物なので、できるだけ深く耕します。その際に、又根やヒゲ根の原因になる小石や枝などの異物は丁寧に取り除きます。

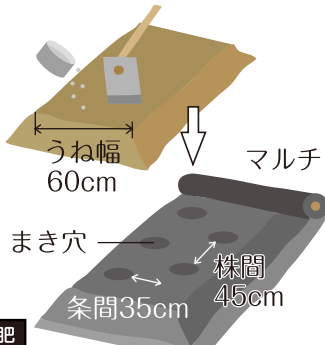


土作り

良菜健穂:10坪当たり 2kg
大地:10坪当たり 3~5kg
コフナ:10坪あたり 3~5kg

元肥・うね立て・マルチ張り

植え付けの7日前までに元肥の「有機盛々」をまいて、うね立てを行いマルチを張ります。



元肥

有機盛々:10坪あたり3~4.5kg

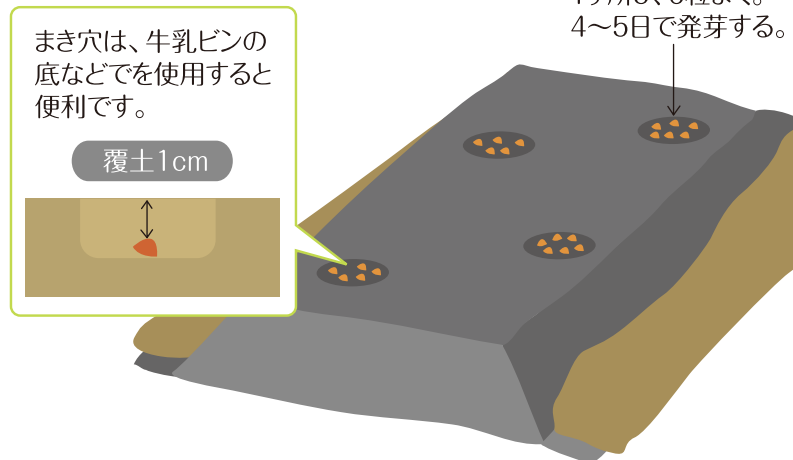
2 種まき

1穴につき、5~6粒づつ種をまきます。覆土は1cmほどかけ、軽く押さえながらかん水を行います。

まき穴は、牛乳ピンの底などで使用すると便利です。

覆土1cm

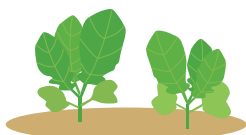
1ヶ所5、6粒まく。
4~5日で発芽する。



3 間引き

発芽したものを良く見ると、双葉の形や大きさが色々なので、できるだけ左右の大きさのそろったものを残します。

残す苗の判断の目安



■ 第1回目追肥
(種まきから約10日目)
本葉1枚の頃、間引いて3本立てにします。

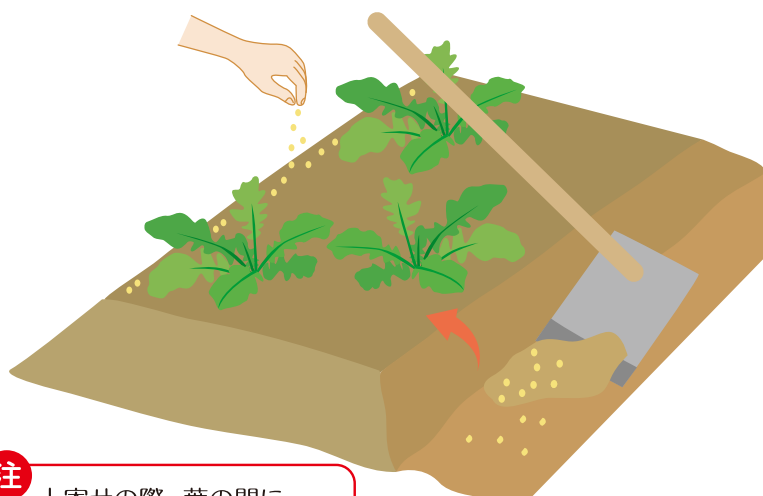
■ 第2回目追肥
(約20日目)
本葉3~4枚の頃、間引いて2本立てに。

■ 第3回目追肥
(約35日目)
本葉6~7枚の頃、1本立てにします。

※残す苗を一緒に抜かないように、3回目はハサミを使うと良い。

4 追肥・土寄せ

間引きの度に株元へ、「千代田550」を1㎡あたり15~20gほどまき、土寄せをします。マルチ栽培の場合は3回目の間引き後、マルチをめくり上げ、うね肩部に同量の追肥を行い合せて土寄せをします。



注

土寄せの際、葉の間に土が入らないように注意!!

5 収穫

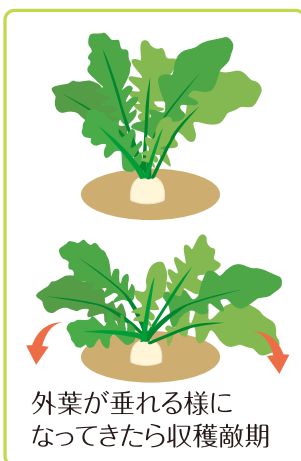
外葉が開き気味になり、垂れる様になったら収穫適期です。収穫が遅れると根の内部に空洞のできる「す入り」の原因になってしまうので注意をします。

夏取り品種

種まきから50~60日が収穫の目安

秋取り品種

種まきから60~80日が収穫の目安

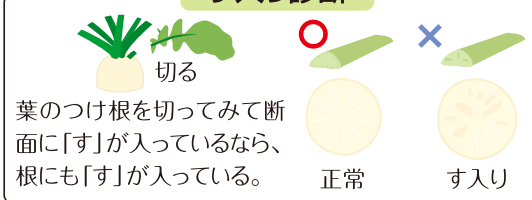


外葉が垂れる様になってきたら収穫敵期



手で引き抜く

す入り診断



葉のつけ根を切ってみて断面に「す」が入っているなら、根にも「す」が入っている。

正常

す入り

ダイコンの奇形根の発生

土の中に異物(石ころ、未熟堆肥など)がある時は、また下層土が硬い場合、幼苗期の害虫、風害などにより、岐根・曲がり・寸づまりなどになる。



月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
中間地	春まき											
	秋まき											
暖地	春まき											
	秋まき											
寒冷地	春まき											
	秋まき											

● 種まき期
● 植えつけ期
● 収穫期

土いじり応援プロジェクト



無断転載禁止